

事業所名 若宮園グループホーム

日付 平成 20年 2月 20日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員
 介護経験歴 7年

[自主評価結果を見る](#) (工事中)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
 (記述式)

管理者が代わっても前管理者の指導を受け継いでいるので、新しい管理者とコミュニケーションを図りながらきちんと対応していました。老健施設や特養施設と一体となった介護連携を行っています。施設内を上手に使って入居者がストレスをためないように、運動不足にならないように工夫しています。地域との関係もしっかりできています。

金銭面、運営面、地域との関係などは関連の施設を含めた施設長が行っているため、管理者および職員は入居者の介護にすべてを集中することができる環境にあるようです。計画的な生活よりも入居者が出来る事を時間がかかっても出来る場を作り、ストレスが溜まらない生活リズムを与えていました。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

食事を作っている職員は一生懸命、食事作りに集中しているが為に、職員間の連携が多少不足しているように見受けられました。介助などで移動するときに、隣接した施設へ食器を返す必要があることから、全員の食事が終わっていない時間に片付けの耳障りな音等がしてせつなくゆったりとした環境がもたないと感じました。片づけをしたがる入居者もいるようですがその辺りの調整も必要かもしれません。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	「今までの暮らしの継続」「自由自分で選べる決定権」「自分の力 可能性を發揮」を理念にしています。安心して生活できることADLを落とさないこと選んでもらえる物を用意することを目指しています。入居者の今までの生活スタイルを変えないようにし、時間で縛らず、今まで聞いていた音楽を聴いてもらったりして自由にしてもらっています。中には位牌を持ってきている方もいます。入浴の時間も夜8時まで対応しています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	出来ることをしてもらっています。職員はグループホームでの生活パターンを目で見分けるように家族へ説明しています。また家族には入居者の状態によって面会に来る回数を多くしてもらったり、逆に少なくしてもらったりしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者は羞恥心を持っているので、特に居室での対応や排泄時の対応には気をつけています。排泄時の言葉かけには他の入居者に分からないように十分な配慮がされています。ホームに働きに来ていると思っている入居者(以前、料理の仕事をしていた)には、野菜を切ったり、盛り付けたりすることをお願いしています。また一人暮らしをされていた方には、ごみ捨てなど自分の仕事を決めてお願いしています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	・グループホーム内、関連施設全体、外部の研修会など勉強会を頻繁に行っています。 ・排泄に行く時、転倒したことがある入居者に対しては一緒に行っています。ADLを落とさないよう日ごろから動いてもらっています。そして家族からの意見や要望を聞くため、カンファレンスには必ず家族の方に参加してもらっています。		